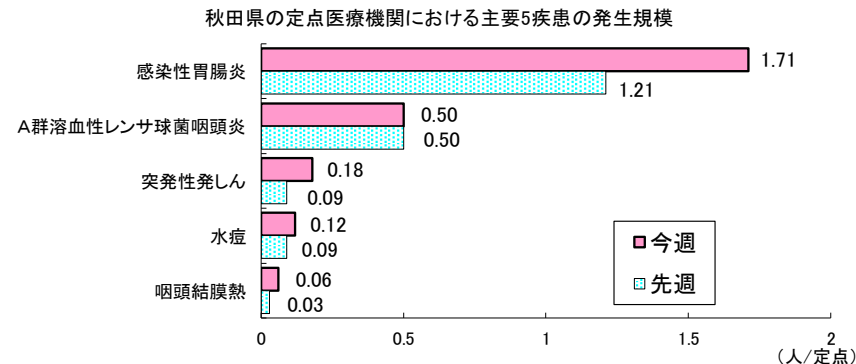




【第45週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

1. 感染性胃腸炎は、県全体で1.4倍に増加しています。保健所別では、秋田市、大館、能代、秋田中央、横手で増加、北秋田、大仙、湯沢で減少しています。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で同規模です。保健所別では、大館で増加、秋田市、秋田中央、由利本荘、大仙で減少しています。
3. 突発性発しんは、県全体で2.0倍に増加しています。保健所別では、秋田市、北秋田、大仙で増加、由利本荘、湯沢で減少しています。



発生報告

< 五類定点対象疾患(週報) >

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第44週	第45週	増減	第44週	第45週	増減	第44週	第45週	増減	第44週	第45週	増減	第44週	第45週	増減	第44週	第45週	増減	第44週	第45週	増減	第44週	第45週	増減	第44週	第45週	増減			
RSウイルス感染症	0.03		↘												0.25		↘													
インフルエンザ																														
咽頭結膜熱	0.03	0.06	↗		0.29	↗															0.25		↘							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	0.50		0.29	0.14	↘	1.50	3.00	↗						1.00	0.75	↘	0.75		↘	0.50	0.25	↘							
感染性胃腸炎	1.21	1.71	↗	1.14	3.14	↗	3.50	5.00	↗	1.50		↘	2.00	2.33	↗	0.75	1.75	↗			1.00		↘		0.33	↗	1.00	0.33	↘	
水痘	0.09	0.12	↗					0.50	↗				0.33		↘	0.50	0.50													
手足口病																														
伝染性紅斑	0.03		↘										0.33		↘															
突発性発しん	0.09	0.18	↗	0.14	0.43	↗					0.50	↗									0.25		↘		0.50	↗		0.33	↘	
ヘルパンギーナ																														
流行性耳下腺炎																														
川崎病																														
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*								*	*		*		
流行性角結膜炎	0.14		↘	0.33		↘				*	*		*	*		*	*								*	*		*		
細菌性髄膜炎																														
無菌性髄膜炎																														
マイコプラズマ肺炎																														
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																														
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																														

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。

「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・四類感染症のレジオネラ症が秋田市保健所管内から1人、報告されました。
- ・新型コロナウイルス感染症が秋田市保健所管内から14人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	1週-44週		45週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
	急性灰白髄炎			
	結核	13249	62	
	ジフテリア			
二類	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
	コレラ			
	細菌性赤痢	7		
	腸管出血性大腸菌感染症	2760	21	
	腸チフス	2		
	パラチフス			
	E型肝炎	366		
三類	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	64		
	エキノコックス症	22		
	黄熱			
	オウム病	8		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	7		
	キャサナル森林病			
	Q熱	1		
	狂犬病			
四類	コクシジオイデス症			
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	109		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎	4		
	ダニ媒介脳炎	4		
	炭疽			

類型	疾患名	1週-44週		45週
		全国	秋田	秋田
四類	チクングニア熱			
	つつが虫病	170	1	
	デング熱	6		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	448		
	日本脳炎	3		
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症	1		
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ポツリヌス症	5		
	マラリア	23		
	野兔病			
	ライム病	20		
	リッサウイルス感染症			
リフトバレー熱				
類鼻疽				
レジオネラ症	1781	20	1	
レプトスピラ症	32			
ロッキー山紅斑熱				
五類	アメーバ赤痢	444	2	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	162	3	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1679	27	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	21		
	急性脳炎	283		
	クリプトスポリジウム症	5		
	クロイツフェルト・ヤコフ病	154	1	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	535	4	
	後天性免疫不全症候群	871	1	
	ジアルジア症	30		
	優襲性インフルエンザ菌感染症	163	1	
	優襲性髄膜炎菌感染症	2		
	優襲性肺炎球菌感染症	1122	9	
	水痘(入院例に限る)	236	5	
	先天性風しん症候群	1		
	梅毒	6398	36	
	播種性クリプトコックス症	128		
	破傷風	84		
	パンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
	パンコマイシン耐性腸球菌感染症	106		
百日咳	532	4		
風しん	10			
麻しん	4			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	4			
* 新型コロナウイルス感染症	1762	14		

* 新型インフルエンザ等感染症

トピック

<インフルエンザに備えましょう>

インフルエンザの患者報告は、昨シーズン(2020/2021)ほとんどありませんでしたが、例年12月頃から増加し始めます(図)。今シーズン(2021/2022)は、第45週現在、県内の定点医療機関からの患者報告はありませんが、今後の発生動向に注意し、早めの対策を心がけましょう。

※インフルエンザのシーズン：第36週(9月初め)～翌年の第35週(8月末)

■ 予防対策

- ・ 手洗いの徹底、マスクの着用、咳エチケット、十分な睡眠とバランスのよい食事などに心がけましょう。
- ・ 予防接種はインフルエンザに対する抵抗力(免疫)をつくり、重症化を防ぐのに有効です。接種回数は、6カ月～13歳未満の小児は1シーズン2回、13歳以上の方は通常1回です。ただし、予防接種の効果が得られるまでには2週間程度かかりますので、まだ受けていない方は早めの接種をご検討ください。

インフルエンザの予防接種は任意接種のため、費用は原則自己負担となります。ただし、表に該当する方は定期接種の対象となっており、一部公費負担を受けられます。また、市町村によっては独自の助成事業を行っている場合がありますので、お住まいの市町村、かかりつけの医療機関などにお問い合わせください。

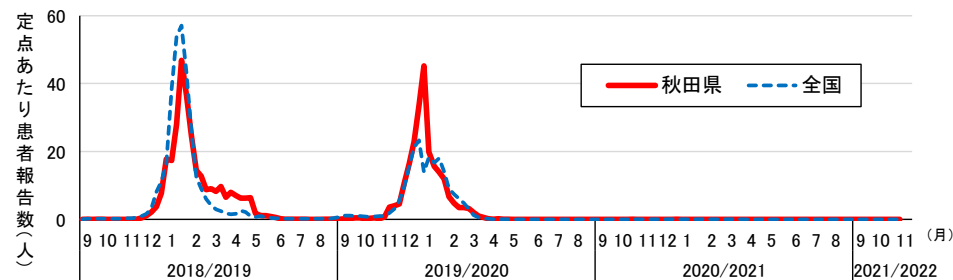


図 インフルエンザの定点医療機関あたり患者数の推移

表 インフルエンザワクチン定期接種対象者

対象者	備考
65歳以上の方(接種日が誕生日の方を含む)	—
60～64歳の方で ①心臓、腎臓、呼吸器の機能に障がいがある方 ②ヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に障がいがある方	おおむね、身体障害者手帳1級に相当する方

感染性胃腸炎の集団発生状況

感染性胃腸炎の集団発生報告が2件ありました。

所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	症状
			利用者(園児)	職員	計		
大館市	宮の杜神明こども園	11/8	110名のうち13名	35名のうち1名	14名	10/29～11/8	発熱、嘔吐、下痢
大館市	元気ひろほ保育園	11/10	47名のうち21名	19名のうち2名	23名	10/29～11/10	嘔吐、下痢、発熱



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
注意報・警報はありません。		

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報		警報		対象疾患	注意報		警報	
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)	対象疾患		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)	
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1		
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2		
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1		
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4		
手足口病	-	5	2						

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		